

(第1号議案-1)

## 平成30年度 事業報告書

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

### I. 概要

平成30年度の日本経済は、戦後最長の「いざなぎ景気」に並ぶ景気の拡大期であったと言われるが、西日本豪雨や台風21号、大阪北部や北海道での地震による大規模災害の影響もあり輸出産業や個人消費は低迷し、年度当初の予測には届かない経済成長となった。また、米中貿易戦争の激化により、日本企業の業績懸念は年度後半まで続く状況となった。

建設市場においては、2020年の東京五輪関連工事や大規模プロジェクト・災害復旧などを抱える地域では工事量があったものの、全国的に見れば繁忙地と閑散地、また企業間での格差が広がっている状況となった。一方、働き方改革関連法の成立により、国土交通省では、長時間労働の是正と技能労働者の処遇改善、生産性向上を目指す「建設業働き方改革加速化プログラム」を発表するほか、新たな在留資格の外国人技能者をオール建設業で受け入れることを目指すなど、専門工事業界も巻き込んだ改革に向けた施策に取り組み始めた年であった。

コンクリート圧送業界では、現場の労働者不足を背景とする生産性向上策による、鉄骨造やプレキャスト化などへの構造変更の増加が大きく影響し、稼働状況は低下傾向を続けている。生コン出荷量も過去最低を更新し続けているが、会員の圧送業者は、各社とも圧送技能者の処遇改善のための受注金額の向上に懸命な努力を続けている。

このような中、全圧連では、平成30年に社団法人設立30周年を迎え、単協組織の協力のもと、圧送技能の向上と事故撲滅を図るための全国統一安全・技術講習会を始めとする各種教育を継続して推進するとともに、コンクリート圧送施工技能士や登録コンクリート圧送基幹技能者の育成、圧送工事の安全施工と品質確保に寄与する会員有資格者の優先起用を広く周知するほか、法定福利費の確保を推進し、圧送技能者の処遇改善、業界の生産性向上と作業環境改善に向けた活動を進めてきた。

また、コンクリート圧送技能の唯一の技術書である『コンクリートポンプ圧送マニュアル』を12年ぶりに全面刷新し、広く世に送り出すことができた年であった。

## II. 重点施策

1. 全圧連組織の拡大・強化
2. 適正な圧送工事原価の確保持
3. 安全施工の推進、災害事故の撲滅
4. 作業環境改善・生産性向上および労働条件の改善、若手技能者の確保・育成
5. 有資格者の育成と技能向上、評価・活用の推進

## III. 本部事業

### 1. 諸会合の開催

#### (1) 総会

前年度事業報告および決算承認、本年度事業計画書（案）および予算（案）承認、理事の選任のための通常総会、臨時総会を開催した。

- 1) 第7回通常総会 … 30. 5. 23 東海大学校友会館  
議事：①平成29年度事業報告及び同収支決算報告、並びに  
公益目的支出計画実施報告の承認について  
②平成30年度事業計画（案）及び同収支予算（案）の承認について  
③理事の選任について
- 2) 臨時総会 … 31. 1. 16 東海大学校友会館  
議事：理事の選任について

#### (2) 理事会および代表者会議

- 1) 第19回理事会・代表者会議 … 30. 4. 17 東海大学校友会館  
議事：①平成29年度事業報告（案）・決算報告および  
公益支出目的計画実施報告について  
②平成30年度事業計画（案）・予算（案）について  
③賛助会員の吸収合併による社名変更について（榊加藤製作所）  
④総会表彰者の選考について  
⑤登録コンクリート圧送基幹技能者に関する諸事項について  
（本年度講習、業法改正に伴う修了証変更、団体更新）  
⑥圧送マニュアルの改訂発刊について  
⑦第7回通常総会、および設立30周年記念、主要行事予定について  
⑧理事の交替について  
⑨単協活動状況報告、意見交換、その他
- 2) 臨時理事会 … 30. 5. 23 東海大学校友会館  
議事：本部役員の選出について
- 3) 第20回理事会・代表者会議 … 30. 10. 19 シェラトン都ホテル東京  
議事：①平成30年度上期事業報告・決算報告について  
②賛助会員の社名変更について（住友理工ホーステックス）  
③残コン改良剤「TERA（テラ）」への販売事業の移行について  
④「最新コンクリートポンプ圧送マニュアル」の発刊について  
⑤外国人材受入れ拡充に伴う新たな在留資格創設への対応について

- ⑥次年度の建設マスター等候補者の選定について
- ⑦第1回全国圧送技術大会について
- ⑧以降の会議開催日程、および全圧連30周年記念式典・祝賀会について
- ⑨単協活動状況報告、意見交換、その他

4) 第21回理事会・代表者会議 … 31. 1. 16 東海大学校友会館

- 議事：①理事の辞任と選任について
- ②賛助会員の入会について
  - ③特定技能外国人の受入れ制度への対応について
  - ④建設マスター等および総会表彰者の推薦について
  - ⑤最新コンクリートポンプ圧送マニュアルの発刊について
  - ⑥2019年度事業・予算案について
  - ⑦任期満了に伴う理事・監事定数配分について
  - ⑧本年度の登録基幹技能者講習・試験報告
  - ⑨次回理事会および通常総会の開催について
  - ⑩単協活動状況報告および意見交換、その他

(3) 常務会

会長・副会長・専務理事・常務理事で構成する常務会（役員会）を6回開催、事業執行に係る以下の議事につき審議を行った。

- ① 30年度第1回 … 30. 4. 18 東海大学校友会館  
議事：役員人事について、全圧連社章（バッジ）の作成について、職員給与について、理事会・代表者会議の議事運営について、他
- ② 30年度第2回 … 30. 5. 23 東海大学校友会館  
議事：通常総会の議事運営について、本年度の東京労働局への助成金申請について、本年度の若手幹部研修会・事務局長会議について、他
- ③ 30年度第3回 … 30. 6. 27 全圧連会議室  
議事：事業活動状況について、賛助会員の社名変更について（住友理工ホーステックス）、国交省中建審・社整審の動向・建設キャリアアップシステムと技能者および企業の評価動向について、事務局長会議・若手幹部研修会・設立30周年記念事業について、他
- ④ 30年度第4回 … 30. 10. 19 シェラトン都ホテル東京  
議事：設立30周年記念式典・祝賀会について、最新圧送マニュアルについて、新・資格証入の完成について、外国人材の新たな在留資格について、建設マスター等の候補者の選出ブロックについて、他
- ⑤ 30年度第5回 … 31. 1. 16 東海大学校友会館  
議事：事業活動状況について、国交省の各種新施策への対応について、任期満了に伴う役員改選について、理事会・代表者会議および臨時総会の議事運営について、他
- ⑥ 30年度第6回 … 31. 3. 18 全圧連会議室  
議事：事業進捗状況・予算執行状況について、新年度事業計画・主要行事日程および予算について、外国人技能者受入れ制度への対応について、任期満了に伴う役員改選について、他

(4) 建機工との連絡会議（トップ会）

常務会（役員会）と（一社）日本建設機械工業会（建機工）のコンクリート機械部会との連絡会議を1回開催、市場動向と活動状況の報告のほか、意見交換を行った。

31. 3. 18 機械振興会館

## (5) 監事会

- 1) 29年度期末決算指導・監査 … 30. 4. 5 全圧連会議室
- 2) 30年度上期決算指導・監査 … 30.10. 4 全圧連会議室

## (6) 事務局長会議

第20回事務局長会議 … 30. 9.14 戸田家（三重県鳥羽）

議事：①全圧連からの報告・依頼事項

残コン処理剤「TERA」への販売移行、若手幹部研修会および設立30周年記念式典への参加依頼、登録基幹技能者更新講習の申込み状況、技能検定申込み日程と過去問題集の販売について

②協議・意見交換

各講習会の事務書類の様式変更について、単協状況報告および情報交換

## (7) 第21回若手幹部研修会 … 30.11. 9～10 福岡東映ホテル（福岡）

①安全のトライアングルとやる気の科学

講師：(一社)福岡県建設専門工事業団体連合会 事務局長代理 長濱弘樹氏

②『最新 コンクリートポンプ圧送マニュアル』の改定内容について

講師：日本大学理工学部建築学科 教授 中田善久氏

③中小企業の経営と経営者（経営、基本のキ）

講師：アットアンドイン(株) 代表取締役 段谷陽一郎氏

④意見交換会「若手幹部研修会の今後の活性化について」

…45名参加

## (8) 設立30周年記念式典・祝賀会 … 30.10.19 シェラトン都ホテル東京

記念講演：武田美保氏（五輪シンクロナイズドスイミング メダリスト）

…181名が参加

## Ⅲ. 実施事業

### 1. 経営委員会

#### (1) 経営革新および経営の戦略化のための事業

- 1) 平成29年度の経営実態調査結果を集計・分析。報告書の発刊に向けた掲載内容の検討作業を行った。今回調査も回答率57.3%と半数以上の会員企業からの調査回答を得た。
- 2) 本年度の若手幹部研修会（11/9～10）の講義内容、講師選定を行った

#### (2) 取引価格の適正化に向けた事業

- 1) 平成29年度の経営実態調査結果報告書を発刊。会員および関係機関に配付するとともにホームページおよび業界紙に掲載し、業界の実態をPRした。
- 2) 週休2日制および時間外労働の削減など、「働き方改革」に対応した圧送料金水準の改定に向けた検討を行った。
- 3) 取引価格適正化に向け、建築工事の市場単価調査方法を定める建築コスト管理システム研究所との調査改善に向けたヒアリングを企画した（10/24）。

### (3) 労働環境および労働条件の改善、生産性向上、福利厚生の上昇に関する事業

- 1) 建設技能労働者の処遇改善に向けた「建設キャリアアップシステム」の会員への情報提供を都度実施し、システムを活用した技能者の能力評価・企業の施工能力の見える化の検討会議に参画した。また、理事会と併設してシステムの導入に関する下記の説明会を開催した。
  - ・建設キャリアアップシステムに関する説明会  
(建設業振興基金 建設キャリアアップシステム運営室による)
  - … 30. 4. 18 東海大学校友会館
- 2) コンクリート圧送業の技能者を経験年数・資格者クラス別の取得知識・技能に4段階にレベル分けする「職業能力評価基準」を策定し、フォローアップ委員会に継続参加している。
- 3) 「働き方改革」による建設技能労働者の処遇改善に向けた国交省や元請団体の動向を会員に周知するとともに、国交省との意見交換会に都度参画した。  
また、年間休日数や土曜休日の設定状況、変形労働時間制の届出状況につき経営実態アンケート調査で把握するほか、社会保険労務士事務所と連携した相談窓口を開設している。
- 4) 国土交通省の社会保険未加入対策の動向につき、都度の情報配信に努めるとともに、法定福利費別枠明示型の標準見積書をホームページ上で都度更新、また、経営実態アンケート調査等を活用した社会保険加入状況の実態調査を継続して実施した。
- 5) 全圧連福祉共済制度の加入者向上に向けたパンフレット等による加入促進活動を定期に実施した。3/31 現在、加入率 39.5%となっている（前年同期 40.5%）。  
なお、12/1 からの新保険年度より、保険料（掛金）の値下げを行った（※加入状況は「全圧連福祉共済加入状況表」を参照）。
- 6) 輸送管類の荷降ろし・設置中の事故の防止、およびポンプ車の点検・検査の徹底をテーマとした「2019年版全圧連事故防止カレンダー」を作成。企業名印刷を募集し、3,711部を注文した（前年度は3,779部）。
- 7) ホッパ内の残コンクリート処理剤「R2」に替わる改良剤「TERA（テラ）」への移行販売を開始し、普及に向けたPR活動を行った。（8月）。
- 8) 新たな外国人材の在留資格である「特定技能1号」「特定技能2号」制度の創設に関する会員への調査を実施するとともに、国交省の制度導入検討会に参画。建設業界で外国人材受入れを共同事業として行う新法人「(一社)建設技能人材機構(仮称)」の設立会員として登録を行った（9月～3月）。

### (4) 全圧連組織の拡大・活性化に関する事業

- 1) 石川県の圧送組合の役員企業を経営委員会にオブザーバーとして招き、情報交換を行った（7/20）。

### (5) 事業推進のための会議の開催

2回の委員会および5回のワーキンググループ（WG）、技術委員会WGとの1回の合同会議を開催した。

- 1) 第57回経営委員会 … 30. 7. 20 ホテル金沢  
議事：①平成30年度事業計画について  
②生コン出荷動向について  
③建設キャリアアップシステムと企業の施工能力の見える化・技能者の能力評価

の検討内容について

- ④国交省中建審・社整審による働き方改革等に向けた法改正の動きについて
- ⑤経営実態調査の中間集計結果報告
- ⑥働き方改革（週休2日制）に対応した圧送料金体系の検討について
- ⑦安全衛生経費の確保策について
- ⑧福祉共済制度の加入状況について
- ⑨2019年版事故防止カレンダーについて
- ⑩第21回若手幹部研修会（11/9～10・福岡）について
- ⑪意見交換、その他

2) 第58回経営委員会 … 31. 3. 6 東海大学校友会館

議事：①生コン出荷動向、建設技能労働者数の現状等について

- ②平成31年3月より適用する公共工事設計労務単価と標準見積書（法定福利費別枠明示）の数値改訂について
- ③特定技能外国人の受入れ制度の開始と、受入れ事業のための新法人設立について
- ④建設キャリアアップシステムの導入と外国人への適用について
- ⑤建設技能者の能力評価制度案と企業の見える化（企業評価）の検討動向について
- ⑥働き方改革に対応する基本料金制度の検討について
- ⑦経営実態調査の実施と調査票内容の改訂について
- ⑧全圧連福祉共済制度の加入状況と配当金について
- ⑨新年度事業計画案について
- ⑩単協状況報告、意見交換、その他

3) 経営委員会 WG

①第62回会議 … 30. 4. 18 全圧連会議室

議事：新年度事業計画案、働き方改革加速化プログラム、外国人実習生への新たな在留資格、キャリアアップシステムの資格情報登録と評価基準、週休2日制導入に伴う圧送料金、30周年記念事業、福祉共済制度について、他

②第63回会議 … 30. 6. 27 全圧連会議室

議事：国交省中建審・社整審の審議内容、キャリアアップシステムと評価基準の検討状況、経営実態調査の中間報告、福祉共済制度の保険料改定（減額）、事故防止カレンダーの掲載テーマ、30周年記念事業・若手研修会について、他

③第64回会議 … 30. 9. 20 全圧連会議室

議事：経営実態調査結果報告書、キャリアアップシステムの稼働延期と評価基準の検討状況、外国人受入れの新たな在留資格創設、働き方改革の取組み動向（日建連・建専連）民法改正に伴う請負契約ルール改正、残コン改良材「TERA」への移行販売、30周年記念事業・若手研修会、他

④第65回会議 … 30. 12. 6 全圧連会議室

議事：キャリアアップシステムの限定運用開始、外国人材受入れの動向、働き方改革に対応する圧送料金体系の検討、福祉共済制度状況、新年度事業計画、合同WG会議および本委員会の議事運営、他

⑤第66回会議 … 31. 2. 2 TKP 横浜ビジネスセンター

議事：特定技能外国人の受け入れに関する動向と今後の対応、経営実態調査の実施、全圧連のブランディング事業、他

- 4) 合同WG会議 … 31. 2. 2 TKP 横浜ビジネスセンター  
特定技能外国人の受け入れに関する動向と今後の対応、新年度の主要会議の設営、他

## 2. 技術委員会

### (1) 安全施工・労働災害防止および技術・技能向上のための事業

- 1) 平成 30 年度の全国統一・安全技術講習会を、以下のカリキュラムにて全国の単協との共催により開催。会報等やホームページにより主要ゼネコン本支店に発信し、講習会修了者の優先起用をPRしている。

修了会員企業には修了証明書（企業用およびポンプ車搭載用）を発行し、本年度よりヘルメット貼付用の修了シールの配布を開始した。

25 単協にて開催、437 社・4,607 名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。

#### [平成 30 年度 全国統一安全・技術講習会 統一カリキュラム]

- ①『最新 コンクリートポンプ圧送マニュアル』より巻末資料「コンクリート圧送作業標準手順書」～注意すべき作業のポイントについて
  - ②『最新 コンクリートポンプ圧送マニュアル』より第 11 章「コンクリートポンプの点検・検査」～ブーム・アウトリガ・輸送管の点検ポイント
  - ③知らないではすまされない作業員の 6 つの法的義務
  - ④コンクリート圧送工事における災害事故報告 2017
  - ⑤輸送管に関するアンケート調査
- 他、各単協における独自プログラム
- 2) 安衛法関係法令に定めるコンクリートポンプ車特別教育を、全国の単協との共催により開催。建設業労働災害防止協会発行による特別教育用テキスト「コンクリートポンプ車運転者必携」も併せて斡旋販売した。なお、修了者には修了証を発行している。
- 20 単協にて開催、会員 156 社・354 名、員外 40 社・69 名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。
- 3) 労働基準局通達に基づく特別教育再教育を、全国の単協との共催により開催。
- 平成 29～31 年度までの 3 年間の再教育テーマとして、「現場でのリスクアセスメント KY を身に付ける」と題した、現場でのリスクアセスメント KY の実施方法を修得するカリキュラムを実施している。なお、再教育修了者には修了証を更新し発行している。
- 21 単協にて開催、237 社・1,840 名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。
- 4) 安衛則改正により義務付けられた、足場の組立て等の業務に従事する者への特別教育修了に対応するため、会員圧送従事者への特別教育を、本年度も継続して全国の単協との共催により開催した。
- 建設業労働災害防止協会発行による特別教育用テキスト「足場の組立て等作業従事者必携」も併せて斡旋販売した。修了者には全圧連より修了証を発行している。
- 一昨年度で会員圧送従事者はほぼ特別教育を修了したため、本年度は 7 単協にて開催、46 社・126 名の修了となっている（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。
- なお、3 時間の短縮教育で修了できる猶予期間は、昨年 6 月 30 日で終了した。
- 5) 安衛則改正によるフルハーネス（墜落制止用器具）の原則義務化に伴い、特別教育の開催に関する検討を開始。技術委員（講師）への特別教育を開催（2/6）し、会員圧送従事者

へのフルハーネスの特別教育の全国の単協との共催による開催を開始した。本年度は 11 単協にて開催、139 社・1,334 名の修了となっている（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。

- 6) 重大災害事故に関する情報収集、速報を配信するとともに、事故防止策を協議検討した。
- 7) コンクリート新聞社より出版した「プロが薦めるコンクリートポンプの機種選定」を、本年度も登録コンクリート圧送基幹技能者の 5 年に 1 度の更新講習テキストとして使用した。
- 8) 特定自主検査者資格（事業内・検査業）の取得研修会開催・能力向上教育開催を周知し、資格取得と能力向上に向けた啓発活動を実施した。
- 9) 免許・資格証などの収納ケースである「資格証入」をリニューアルし作成、単協・会員への販売を開始した（10 月）。
- 10) 中央職業能力開発協会の許諾を受け、「コンクリート圧送技能検定 1 級・2 級過去問題集 2018 年度版」を新たに発刊し販売を開始（11 月）。受検者への活用を周知した。
- 11) 本年度の若手幹部研修会（11/9～10）の講義内容協議、講師選定を行った

## (2) 圧送施工に関する調査研究・研修・広報事業

- 1) 「第 1 回全国圧送技術大会」の実行委員会・論文審査・表彰委員会合同による反省会を開催し、今後の改善点等を協議。2020 年度後期に第 2 回大会を開催することを申し合わせた。  
・第 1 回全国圧送技術大会 反省会 … 30. 5.10 日本大学理工学部  
議事：アンケート集計結果報告、大会決算報告、大会の反省点・課題等について、第 2 回大会の開催と今後の委員会人選・スケジュールについて、他
- 2) 本年度の安全・技術講習会および、本年度～平成 31 年度までの特別教育再教育の全国開催に向けた、技術委員を対象とした講師研修を実施した（6/12）。
- 3) 安全・技術講習会の全受講者に対して、輸送管類の破裂事故の実態、点検・検査方法および保管状況などに関するアンケート調査を開始した。
- 4) 『最新 コンクリートポンプ圧送マニュアル』の編集作業・発刊に向けた準備作業を継続して実施し、1 月に発刊。会員および一般書店での販売を開始するとともに、特別教育や外国人を対象とした講習での使用方法につき検討を開始した。
- 5) 生コンクリートの安全データシート（SDS）の義務化に伴う、取扱い留意の周知について検討。技術委員会で報告するとともに最新圧送マニュアルでの説明掲載を行った。
- 6) 建設キャリアアップシステム導入に伴う技能者能力評価の基準・評価方法に関する検討を開始した。
- 7) 日本コンクリート工学会（JCI）の「コンクリート圧送工法ガイドライン 2009」を改訂し指針作成を目指す「コンクリート圧送技術調査委員会」に参画した。
- 8) ブーム先に接続する機材の種類・長さを規定した JIS A 8612 の改定を日本建設機械施工協会標準部に要望し、同協会のコンクリート機械部会の改定協議に参画した（7/31）。



- 9) 会員・有資格者起用 PR リーフレット「コンクリート圧送工事業は全圧連会員におまかせ下さい」を刷新し、単協へ配布し活用を依頼した。
- 10) ホッパ内の残コンクリート処理剤「R2」に替わる改良剤「TERA（テラ）」への移行販売を開始した（8月）。

### (3) 関係諸機関との連携協力

- 1) 日本建設機械工業会（建機工）……ポンプ車の安全対策に関する情報交換を行うとともに、圧送マニュアルや登録基幹技能者講習テキスト等、全圧連の刊行物へ掲載する技術情報の提供依頼、登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会への委員参画を得ている。
- 2) 日本建設機械施工協会（建機協）…ブーム先に接続する機材の種類・長さを規定した JIS A 8612 の改定を検討するコンクリート機械部会の協議に参画するとともに、
- 3) 建設荷役車両安全技術協会（建荷協）……特自検有資格者の能力向上と資格取得 PR に協力するとともに、圧送マニュアルへの情報提供依頼、特自検の検査者資格の事業主等への緩和拡充を要請した。
- 4) 日本建築学会…CFT 施工指針改訂委員会への委員選出等、工事仕様書改訂への協力、各種講習会に協賛し会員への周知を行うとともに、圧送マニュアルへの資料転載協力を得、建築学会図書館への寄贈を行った。

充填鋼管コンクリート研究小委員会（CFT 施工指針改訂委員会）

全圧連選出委員：篠原伊久夫（千葉、(有)土井企業） (敬称略)

第 15 回委員会 …	30. 5. 30	建築会館
第 16 回委員会 …	30. 7. 13	〃
第 17 回委員会 …	30. 11. 2	〃
第 18 回委員会 …	30. 12. 3	〃
第 19 回委員会 …	30. 12. 25	〃
第 20 回委員会 …	31. 1. 22	〃

- 5) 土木学会…圧送マニュアルへの資料転載協力を得、土木学会図書館への寄贈を行った。
- 6) 建設業労働災害防止協会…フルハーネス（墜落制止用器具）の原則義務化に伴う特別教育に関する情報収集を行うとともに、圧送マニュアルへの資料転載を得た。
- 7) 日本コンクリート工学会（JCI）…各種講習会への協賛と周知協力を行うとともに、圧送マニュアルへの資料転載を得た。また、「コンクリート圧送工法ガイドライン 2009」を改訂し指針作成を目指す「コンクリート圧送技術調査委員会」に参画した。

コンクリート圧送技術調査委員会 WG1

全圧連選出委員：北口延郎（全圧連） (敬称略)

第 2 回全体会議 …	30. 5. 1	JCI 会議室
第 5 回 WG …	30. 6. 1	〃
第 6 回 WG …	30. 9. 21	〃
第 7 回 WG …	30. 12. 14	〃
第 3 回全体会議 …	31. 1. 8	〃

第 8 回 WG	…	31. 2. 22	JCI 会議室
第 9 回 WG	…	31. 3. 27	〃
コンクリート圧送技術調査委員会 WG2			
全圧連選出委員：吉田兼治（山形、(株)ヤマコン） (敬称略)			
第 5 回 WG	…	30. 6. 5	JCI 会議室
第 6 回 WG	…	30. 8. 23	〃
第 3 回全体会議	…	31. 1. 8	〃
第 7 回 WG	…	30. 11. 26	〃
第 8 回 WG	…	31. 1. 22	〃
第 9 回 WG	…	31. 3. 8	〃

- 8) 中央職業能力開発協会（能開協）…コンクリート圧送施工技能検定の試験問題作成を担当する、中央技能検定委員の全圧連からの業界委員として以下の 4 名を推薦し選出している。  
また、『コンクリート圧送施工技能検定（1 級・2 級）過去問題集 2018 年度版』発刊のための試験問題の使用許諾の協力を得た。

#### 中央技能検定委員

- ① コンクリート圧送施工 1 級・2 級  
 吉田兼治（山形、(株)ヤマコン） 庭野祐逸（埼玉、(有)三進圧送）  
 山口次郎（神奈川、(株)北斗工業） 堀之内正樹（東海、(株)タニケン）
- ② コンクリート圧送施工基礎級  
 吉田兼治（山形、(株)ヤマコン） 山口次郎（神奈川、(株)北斗工業）  
 (敬称略、順不同)

#### [1 級・2 級]

第 1 回委員会	…	30. 5. 23	中央職業能力開発協会
第 2 回委員会	…	30. 6. 18	〃
第 3 回委員会	…	30. 7. 2	〃
第 4 回委員会	…	30. 7. 25	〃
第 5 回委員会	…	30. 8. 21	〃
第 6 回委員会	…	30. 9. 18	〃
第 7 回委員会	…	30. 10. 1	〃
第 8 回委員会	…	30. 12. 4	〃

#### [基礎級]

第 1 回委員会	…	30. 6. 20	〃
第 2 回委員会	…	30. 7. 19	〃

#### (4) 会議の開催

3 回の委員会および 4 回のワーキンググループ（WG）、1 回の安全パトロール、および経営委員会 WG との 1 回の合同会議を開催した。

- 1) 第 62 回技術委員会 … 30. 6. 12 東海大学校友会館  
 議事：①技術委員会執行部の人事について  
 ②第 1 回全国圧送技術大会報告  
 ③平成 30 年度事業計画について  
 ④平成 30 年度 安全・技術講習会 講習カリキュラムについて [講師研修]  
 ⑤平成 29～31 年度 特別教育再教育 講習カリキュラムについて [講師研修]  
 ⑥輸送管に関するアンケート調査の実施について  
 ⑦圧送マニュアル新改訂版の発刊と内容について

- ⑧登録基幹技能者登録講習・試験、更新講習について
- ⑨建設キャリアアップシステムの導入と技能者評価・企業の見える化について
- ⑩生コン安全データシート（SDS）義務化への対応について
- ⑪フルハーネス義務化への対応について
- ⑫その他
  - (1)建設技能トレーニングプログラム「建トレ」の開設について
  - (2)会員・有資格者起用PRリーフレットの刷新について
  - (3)ヘルメット貼付用の安全・技術講習会修了者シールの作成について

2) 第63回技術委員会 … 30. 11. 16 ホテルスカイタワー宮崎駅前

- 議事：①建設キャリアアップシステムの遅延と施工能力の見える化について
- ②残コン改良剤「TERA（テラ）」の販売への移行について
  - ③先行材のJIS化検討について
  - ④資格証入の刷新と販売について
  - ⑤平成30年度 技能検定対策と過去問題集の発刊について
  - ⑥『最新 コンクリートポンプ圧送マニュアル』の発刊について
  - ⑦JIS A 8612（ブーム先端機材規定）の改定に向けた要望について
  - ⑧各種講習会の事務手続きの変更について
  - ⑨ヘルメット貼付用安全・技術講習会修了シールについて
  - ⑩建設業における外国人就労拡大について
  - ⑪登録コンクリート圧送基幹技能者認定試験・更新講習報告
  - ⑫登録コンクリート圧送基幹技能者認定試験・更新講習報告
  - ⑬以降の会議開催について、意見交換、その他

3) 第64回技術委員会 … 31. 2. 6 東海大学校友会館

- 議事：①各資格証のプラスチックカード化について
- ②フルハーネス型墜落制止用器具特別教育の導入について
  - ③フルハーネス型墜落制止用器具特別教育
- 講師：安井貢氏（全圧連副会長・技術委員（島根））

4) 技術委員会 WG

①第54回会議 … 30. 5. 11 全圧連会議室

議事：委員会執行部人事、新年度事業計画、圧送マニュアル新改定版の発刊と作業状況、安全・技術講習会カリキュラム、キャリアアップシステムにおける評価基準への意見、JCI委員会への委員選出、法定点検・検査表の改訂検討、生コンSDSへの対応、会員・有資格者PRリーフレットの刷新について、他

②第55回会議 … 30. 7. 10 全圧連会議室

議事：安全・技術講習会教材案内、圧送マニュアル新改定版の内容修正、輸送管アンケート調査、フルハーネス義務化への対応、安全講習会修了ヘルメット貼付シール、JIS A 8612改定委員会への参加、専門工事業の施工能力見える化・技能者評価の動向、過去問題集発刊について、他

③第56回会議 … 30. 9. 26 全圧連会議室

議事：キャリアアップシステムの運用延期・評価基準の動向、残コン改良剤「TERA」への移行販売、外国人材受入れ・技能実習養成講習、圧送マニュアルの発行部数および価格、JIS A 8612改定要望活動、フルハーネス義務化への対応、過去問題集発刊、以降の各種講習の運営・課題点について、他

④第57回会議 … 31. 2. 2 TKP横浜ビジネスセンター

フルハーネス安全帯の特別教育導入、ポンプ車特別教育修了証のプラスチックカー

ド化、最新圧送マニュアルの発刊、新年度安全・技術講習会カリキュラム、外国人技能者向け教材、基幹技能者更新講習の試験への対応、新年度事業計画、合同WGについて、その他

- 5) 技術委員会 WGによる安全パトロール … 30.11.16 宮崎県宮崎市  
共同住宅新築工事現場の安全パトロールを実施
- 6) 合同WG会議 … 31.2.2 TKP横浜ビジネスセンター  
特定技能外国人の受け入れに関する動向と今後の対応、新年度の主要会議の設営、他

### 3. 登録コンクリート圧送基幹技能者の育成

- 1) 平成30年度の登録コンクリート圧送基幹技能者 登録講習・試験を実施。  
… 30.8.25～28 富士教育訓練センター（静岡県富士宮市）（最終日の試験のみ東京一  
日本大学理工学部で同時実施）にて実施。  
91名が受講・受験申込み。67名が合格。合格率73.6%
- 2) 平成30年度の登録コンクリート圧送基幹技能者 更新講習の実施を準備。  
… 第1回目 30.10.6 日本大学理工学部（東京） 53名が受講  
… 第2回目 30.10.13 大阪コロナホテル（大阪） 99名が受講  
… 第3回目 30.10.27 日本大学理工学部（東京） 56名が受講
- 3) 登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会を計5回、幹事会を1回開催、講習テキスト  
および試験問題の作成、講習運営、合否判定などに関する審議が行われた。

登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会

委員長： 栗田守朗（清水建設株）

副委員長： 中田善久（日本大学）

委員： 鈴木澄江（建材試験センター）、陣内浩（東京工芸大学）

柳井修司（鹿島建設株）、道塚勝也（株加藤製作所）

田中徹（全圧連）、住井次郎（全圧連）

顧問： 十河茂幸（近未来コンクリート研究会）、和美廣喜（島根大学）

（敬称略、順不同）

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| ① 第1回 … 30.4.21 | 全圧連会議室 |
| ② 第2回 … 30.5.26 | 全圧連会議室 |
| ③ 第3回 … 30.6.16 | 全圧連会議室 |
| ④ 幹事会 … 30.7.11 | 全圧連会議室 |
| ⑤ 第4回 … 30.8.10 | 全圧連会議室 |
| ⑥ 第5回 … 30.9.8  | 全圧連会議室 |
| ⑦ 第6回 … 30.12.1 | 全圧連会議室 |
| ⑧ 第7回 … 31.1.4  | 全圧連会議室 |
| ⑨ 第8回 … 31.2.16 | 全圧連会議室 |

- 4) 登録基幹技能者制度を運営する専門工事業 33 職種で組織する「登録基幹技能者制度推進協議会」に参画し、登録基幹技能者の評価・起用の向上に向けた広報および要望活動を他団体と連携して推進した。

### 4. 優秀技能者等の表彰

- 1) 第7回通常総会において、全圧連表彰規定に基づく優秀従業員等表彰を実施。  
… 30.5.23 東海大学校友会館

- ① 優秀従業員表彰 4名
- ② 優良従業員表彰 1名
- ③ 特別表彰（建設マスターおよびジュニアマスター候補者） 5名
- ④ 役員および職員表彰 2名
- ⑤ 特別功労賞（登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員） 2名

2) 総会表彰における副賞としてコンクリートポンプ車の模型を採用。全圧連仕様（カラー・マーキング）の特注モデルの贈呈を開始した。

3) 平成 30 年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）候補者 3 名、優秀青年施工者土地・建設産業局長顕彰（建設ジュニアマスター）候補者 2 名を国土交通省に推薦。全員の受賞が決定した（顕彰式典は 10/5、於：メルパルクホール（東京））。

- ① 建設マスター候補者 3名
  - 共田昌一 トモエポンプ（近畿）
  - 中村光宏 (有)川端工業（福井）
  - 高津竜也 東圧興業(株)（東京） (敬称略、順不同)
- ② 建設ジュニアマスター候補者 2名
  - 大輪隆太 (有)北武圧送（北海道）
  - 向井真紀 三城建機(株)（東京） (敬称略、順不同)

4) 平成 31 年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）候補者 3 名、優秀青年施工者土地・建設産業局長顕彰（建設ジュニアマスター）候補者 2 名を、理事会承認を経て国土交通省に推薦。

- ① 建設マスター候補者 3名
  - 加藤栄司 (株)旭川生コンサービス（北海道）
  - 佐々木重光 山孝建材(株)（宮城）
  - 井浦之充 (株)高見澤（長野） (敬称略、順不同)
- ② 建設ジュニアマスター候補者 2名
  - 上田益生 近圧ポンプ(株)（近畿）
  - 井戸川義晃 栄和工業(有)（九州） (敬称略、順不同)

## 5. 広報活動の推進

- 1) 全圧連会報第 54 号（5 月）、55 号（9 月）、56 号（1 月）を発行。会員・賛助会員のほか、元請団体や主要ゼネコン本支店に配布し、業界の取り組みの PR に努めた。
- 2) 全圧連ホームページによる会員および対外関係先への情報発信、PR を行った。
- 3) 「全圧連名簿」を発行（6 月）。
- 4) 会員・有資格者起用 PR リーフレット「コンクリート圧送工事業は全圧連会員におまかせ下さい」を刷新し、単協へ配布し活用を依頼した。
- 5) 「圧送業界特集」「全圧連設立 30 周年記念特集」を業界紙に掲載、業界の活動成果と将来の課題に関する業界誌等への記事寄稿、プレスリリースを都度実施した。

## 6. 関係官公庁・学会・団体との連携協力

### 1) 国土交通省

「建設キャリアアップシステム」など各種施策に関する周知、調査協力、情報配信のほ

か、働き方改革・担い手確保・生産性向上に関する国交省との意見交換会、諸会合に参加し、圧送業界の実状と意見を発信した。

また、特定技能外国人受入れ制度の創設に係る検討会議に参画し、受入れ事業を共同で行う新法人「(一社)建設技能人材機構」の設立会員として協力を行った。

なお、「社会保険推進連絡協議会」にも委員として参画し、社会保険加入促進・法定福利費の確保などの処遇改善策に向けた周知・調査協力を行った。

- ①公共工事労務費調査説明会 … 30. 7. 30 経済産業省別館
- ②建設市場整備課長と建専連若手経営者との意見交換会 … 31. 2. 7 国土交通省
- ③特定技能外国人受入れに関する会議
  - ・外国人材受入れに関するヒアリング … 30. 9. 19 国土交通省
  - ・特定技能外国人受入れに関する検討会議
    - 第1回 … 30. 10. 4 国土交通省
    - 第2回 … 30. 11. 7 経済産業省別館
    - 第3回 … 30. 12. 19 国土交通省
  - ・特定技能外国人受入れに関するワーキンググループ
    - 第1回 … 30. 12. 14 国土交通省
    - 第2回 … 31. 2. 4 国土交通省
    - 第3回 … 31. 2. 21 国土交通省
  - ・新法人（建設技能人材機構）設立に関する打合せ … 31. 3. 7 国土交通省
  - ・新法人（建設技能人材機構）定款決定会合 … 31. 3. 13 東海大学校友会館

## 2) 厚生労働省・労働局

労働災害防止策、働き方改革に関連する施策の周知、情報配信に努めるとともに、「人材確保等支援助成金」を受給申請し、圧送従事者の確保・育成に資する事業活動に活用するほか、登録基幹技能者の講習受講者に対して、同助成金の受給のための事務手続き支援を行った。

- ①雇用管理研修 … 30. 6. 25 中央労働基準協会ビル

## 3) 経済産業省・中小企業庁・全国中小企業団体中央会

各種中小企業向け支援策の情報収集、周知・提供を行った。

- ①全国中央会研修会 … 30. 11. 26 および 30. 12. 20 全国中央会

## 4) 建設産業専門団体連合会（建専連）

役員団体として理事会、企画委員会、総務部会、全国大会、海外視察などへ参加し、業種横断的な専門工事業界の諸課題改善に向けた活動に参画、各種調査に協力するほか、国交省本省および地方整備局との意見交換会への参画を行った。

### ①総会

- ・第17回通常総会 … 30. 5. 31 東海大学校友会館

### ②理事会

- ・第1回理事会 … 30. 5. 31 東海大学校友会館
- ・第2回理事会 … 30. 8. 23 書面決議
- ・第3回理事会 … 30. 9. 19 建設業振興基金
- ・第4回理事会 … 30. 12. 6 建設業振興基金
- ・第5回理事会 … 31. 3. 25 建設業振興基金

### ③企画委員会

- ・第1回 … 30. 8. 20 建設業振興基金
- ・第2回 … 30. 10. 15 建設業振興基金

- ・第3回 … 30.12. 4 建設業振興基金
- ・第4回 … 31. 1.29 建設業振興基金
- ④総務部会
  - ・第1回 … 30. 5.15 建設業振興基金
  - ・第2回 … 30. 9.13 建設業振興基金
  - ・第3回 … 30.11.28 建設業振興基金
  - ・第4回 … 31. 3. 7 建設業振興基金
- ⑤全国大会 … 30.11.15 ニッショーホール
- ⑥事務局長会議 … 30. 9.13 建設業振興基金
- ⑦国交省建設流通政策審議官と地区建専連会長との意見交換会 …30. 5. 8 国土交通省
- ⑧秋元国交副大臣と建専連会長・副会長との意見交換会 …30. 7. 3 建設業振興基金
- ⑨振興基金理事長と建専連会長・副会長との意見交換会 …30.11.27 赤坂
- ⑩国交省本省および地方整備局との意見交換会（全圧連本部参加のみ）
  - ・北海道 … 30. 7. 5 札幌第一ホテル
  - ・沖縄 … 30. 7.13 沖縄県市町村自治会館
  - ・中部 … 30. 7.18 ホテル名古屋ガーデンパレス
  - ・本省 … 30. 8.23 東海大学校友会館
- ⑪建設専門業の経営革新支援研修会（関東地区）… 31. 1.30 浜離宮建設プラザ
- ⑫建設技能者の処遇等に関する海外視察 … 31. 2.21～2.28 ワシントンDC・ニューヨーク

## 5) 日本建設機械工業会（建機工）

常務会との連絡会議を始めとし、ポンプ車の安全対策に関する情報交換を行うとともに、圧送マニュアルや登録基幹技能者講習テキスト等、全圧連の刊行物へ掲載する技術情報の提供依頼、登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会への委員参画を得ている。

全圧連常務会・建機工コンクリート機械部会 連絡会議 … 31. 3.18 機械振興会館

## 6) 建設荷役車両安全技術協会（建荷協）

特自検有資格者の能力向上と資格取得 PR に協力するとともに、圧送マニュアルへの情報提供依頼、特自検の検査者資格の事業主等への緩和拡充を要請している。

## 7) 建設業振興基金

建設産業活性化助成金を申請し、経営実態調査・若手幹部研修会の実施等に活用するほか、「登録基幹技能者制度推進協議会」に参画し、登録基幹技能者の評価・活用に向けた活動に協力して取り組んでいる。

その他、「建設キャリアアップシステム」に関連した「技能者の能力評価」「専門工事企業の施工能力の見える化」の評価基準等検討会議、「建設産業人材確保・育成推進協議会」に参画。また、「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」のもとで策定した圧送業の「職業能力評価基準」のフォローアップなどの教育訓練等基盤の充実・強化にも協力している。

### ①登録基幹者制度推進協議会

・年次総会 … 30. 6. 1 東海大学校友会館

②建設技能者の能力評価基準づくりワーキンググループ … 30. 6. 4 建設業振興基金

③専門工事企業の施工能力の見える化等に関する検討会 … 30. 6. 7 建設業振興基金

④担い手確保・育成に関する事業説明会 … 30. 7.11 建設業振興基金

④安全衛生経費の確保推進研修会 … 30. 6. 7 および 31. 1.18 建設業振興基金

⑤プログラム・教材等ワーキンググループ（職業能力基準など）

・第17回 … 30.10.10 建設業振興基金

- ・第 18 回 … 31. 2. 12 建設業振興基金
- ⑥建設産業人材確保・育成協議会 全国担当者会議… 31. 3. 1 全日通霞が関ビル

#### 8) 日本建設機械施工協会（建機協）

建設機械施工の業界団体で構成する専門部会へ参画し、特定技能外国人受入れのための海外試験の合同開催を協議検討するほか、ブーム先に接続する機材の種類・長さを規定した JIS A 8612 の改定を日本建設機械施工協会標準部に要望し、同協会のコンクリート機械部会の改定協議に参画した。

- ①コンクリート機械技術委員会 … 30. 7. 31 機械振興会館
- ②専門部会（特定技能外国人受入れに関する海外試験の協議）
  - ・ 30. 11. 22 機械振興会館
  - ・ 30. 12. 25 機械振興会館
  - ・ 31. 1. 17 機械振興会館

#### 9) 富士教育訓練センター

諸会議に参加。登録コンクリート圧送基幹技能者の登録講習会場設営・講師派遣に協力を得るほか、Web ラーニング教材である建設技能トレーニングプログラム（建トレ）に協力している。

- ①通常総会 … 30. 5. 21 東海大学校友会館
- ②富士教育訓練センター竣工式… 30. 9. 28 富士教育訓練センター
- ③事務局長会議 … 30. 10. 23 および 30. 3. 25 東京軀体会館

#### 10) 勤労者退職金共済機構（勤退共）

退職金共済制度（建退共）の制度改正の周知、ホームページや会報を活用した PR 活動への協力を行った。

- ①建退共加入促進連絡会議 … 30. 10. 5 AP 東京八重洲通り会議室

### 附属明細書について

平成 30 年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。



平成30年度 講習会受講者内訳表

平成31年3月31日現在

単協名	安全・技術講習会		安衛法に基づく特別教育				特別教育再教育		足場の業務に係る特別教育		フルハーネス特別教育	
			会 員		会 員 外							
	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数
北海道	26	191	9	11			15	64	11	15		
青 森	6	35	1	2			6	41			6	36
秋 田	4	28	2	3			4	9				
岩 手	8	77	1	2			8	75				
山 形	12	93	3	5	3	5	1	1				
宮 城	17	146	7	12			18	133	1	4		
福 島	16	161	10	16			16	145			7	68
茨 城	9	93	3	10	7	10	9	82				
栃 木	16	72	7	13			15	61				
群 馬	9	136	5	12	3	3	9	130			5	15
埼 玉	21	219	12	33	2	2	19	121	7	37	14	152
千 葉	21	280	11	17	11	19	21	278			19	247
東 京	24	335	12	44	4	12	24	276				
神奈川	26	478	15	51	10	18	3	8	9	34	18	314
長 野	12	74										
静 岡	14	83	4	5			14	78	2	3	7	36
東 海	36	337					30	215			30	153
富 山	3	36					1	3				
福 井												
近 畿	65	884	21	36					15	26		
広 島	10	82	3	7			4	15				
山 陰	1	21					1	13				
島 根	6	30									1	10
山 口	4	34	2	5					1	7	4	40
高 知	7	48	5	5			2	3				
九 州	64	634	23	65			17	89			28	263
合 計	437	4,607	156	354	40	69	237	1,840	46	126	139	1,334

※前年同期 (431) (4,517) (166) (362) (44) (63) (132) (538) (21) (71) (－) (－)

# 平成30年度 福祉共済事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

1. 概況 平成31年3月31日現在 ( )内は平成30年3月31日

・加入単協数	21単協	(21単協)
・加入社数	182社	(185社)
・加入者数	1,350人	(1,116人)
・加入口数	2,392口	(2,380口)

2. 保険金給付状況 平成29年12月1日～30年11月30日

(1) 死亡・高度障害保険金	3件	20,000,000円
(2) 災害死亡給付金	0件	0円
(3) 入院給付金	6件	373,000円
(4) 障害給付金	0件	0円

---

合計	9件	20,373,000円
----	----	-------------

3. 通院入院見舞金 平成30年4月1日～31年3月31日

1件	30,000円
----	---------

4. 制度運営費 (各単協宛還付金)

30年4月～6月	283,640円
30年7月～9月	282,640円
30年10月～12月	286,280円
31年1月～3月	287,000円

---

計	1,139,560円
---	------------

5. 配当金 平成29年12月1日～30年11月30日

・年間掛金	28,153,896円
・配当金	0円
・配当率	0%

## 全圧連福祉共済加入状況表

平成31年3月31日現在

単協名	会員数 (3/31現在)	加入数			加入率(%)	目標口数	目標口数 達成率(%)
		社数	人数	口数			
北海道	31	3	24	24	9.7%	201	11.9%
青森	6	0	0	0	0.0%	43	0.0%
秋田	4	1	11	11	25.0%	29	37.9%
岩手	8	3	31	121	37.5%	81	149.4%
山形	13	13	133	133	100.0%	97	137.1%
宮城	18	5	40	155	27.8%	148	104.7%
福島	17	4	9	22	23.5%	167	13.2%
茨城	9	7	85	188	77.8%	93	202.2%
栃木	10	2	23	46	20.0%	76	60.5%
群馬	9	7	64	129	77.8%	129	100.0%
埼玉	21	8	69	96	38.1%	220	43.6%
千葉	21	5	14	22	23.8%	298	7.4%
東京	25	8	95	183	32.0%	280	65.4%
神奈川	27	9	97	252	33.3%	482	52.3%
長野	12	4	23	34	33.3%	80	42.5%
静岡	15	0	0	0	0.0%	88	0.0%
東海	36	34	305	361	94.4%	341	105.9%
富山	3	0	0	0	0.0%	32	0.0%
福井	3	0	0	0	0.0%	42	0.0%
近畿	65	35	132	173	53.8%	860	20.1%
広島	12	2	30	44	16.7%	88	50.0%
山陰	1	0	0	0	0.0%	27	0.0%
島根	5	4	20	69	80.0%	27	255.6%
山口	4	1	21	90	25.0%	36	250.0%
高知	8	1	12	12	12.5%	53	22.6%
九州	78	25	108	215	32.1%	584	36.8%
事務局		1	4	12			
合計	461	182	1,350	2,392	39.5%	4,602	52.0%

※目標口数の算出方法：

①前年度の安全・技術講習会の受講者数×1口

②安全・技術講習会の開催のない単協においては、保有ポンプ台数×2口